北海道中札内高等養護学校
コミュニティ・スクール通信

中札内高等養護学校
CS(学校運営協議会)事務局
発行日:令和3年8月16日

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)がスタート!

本校は開校以来、中札内村に支えられ、地域と連携した教育活動に取り組んできました。これまで行ってきた地域との様々な交流を推し進めると同時に、中札内村の活性化や村民生活の充実に寄与できる人材の育成を目指し、新たな試みとしてコミュニティ・スクール(学校運営協議会)を導入しました。

【コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)】とは
学校と保護者や地域住民の皆さんが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となり、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

「第1回学校運営協議会」委員

・令和3年7月29日、本校にて第1回学校運営協議会が開かれ12名の委員の皆様に辞令交付を行いました。なお、協議会会長に河瀬智憲様(本校 PTA 会長)、副会長に渡辺大輔様(中札内村役場)が選出されました。

	協議会委員	所　　属
1	明上　幸太	中札内村教育委員会 社会教育主事
2	高桑　佐登美	中札内村役場　保健福祉課課長
3	渡辺　大輔	中札内村役場　総務課課長補佐
4	河瀬　智憲	中札内高等養護学校　ＰＴＡ会長
5	吉倉　孝尚	中札内村商工会　会長
6	濱本　英生	６区町内会　会長
7	細岡　一男	中札内みのり園施設長
8	杉江　　茂	中札内高等養護学校　援護会会長
9	藤田　勝彦	中札内高等養護学校　援護会理事
10	道見ひろみ	地域住民の方(あんてぃー代表)
11	鳥倉　華以	地域住民の方
12	平井　孝和	中札内高等養護学校　校長

辞令交付を受ける委員の皆さん

CS事務局
・中川　雅人(教頭)
・田村臣太郎(事務長)
・廣本　昌司(教務主任)
・小田原峰広(進路指導部長)
・髙橋　眞紀(総務部長)
・矢津田慎二(寮務主任)

「進路支援体制の充実・発展」を目指して

本校のコミュニティ・スクールの目的は『進路支援体制の充実・発展』です。目的を達成するために「長期目標」と「短期目標」を設定しました。

■長期目標・・・**中札内村で生活し働く人材の育成**
～中札内村の経済に貢献できる人材の育成を目指します～

■短期目標・・・**地域協働活動の充実**
～現在行っている現場実習や作業学習等、地域との交流学習の更なる充実を図ります～

1年に一人でも村で就労し、生活する生徒を育てたいい！

委員の方々のご意見から

「実習先については、先生方だけに頼るのではなく、村の人間としても連携が必要ですね。」

「展示即売会は、地域の方で見に行っている人が少ないと思う。地域の方へ広める方策を考えてもらえるといいのではないか。」

「生徒と交流する機会や学習会があってもよいと思う。」

「学校が求めるものと、地域が求めるものが合致し WIN・WIN の関係ができればよいと思う。」

「役場では JAL との連携協定を結んでおり、JAL の職員が役場に勤務している。出前学習や空港での実習なども行っているので養護学校でも学習に活用していただければと思う。」

「卒業生が村で働くには、生活の場が課題となっている。」

「村で働きたいと考える生徒はいると思う。ただし、グループホームを確保するのが大変である。」

■この他にも、本校の生徒の卒後支援に関わる情報交換等が行われました。地域の方々の声を聞きながら、学校の教育活動に生かしていくこともコミュティ・スクールの役割の一つです。今後も、本校の進路支援体制の充実・発展に向けて、皆様の御理解をいただきながら、地域ともに学校づくりを進めていきます。

生徒の学習の様子から

野菜の販売準備（農業科）

木箱の製作（木工科）

コンテナの洗浄（普通科）